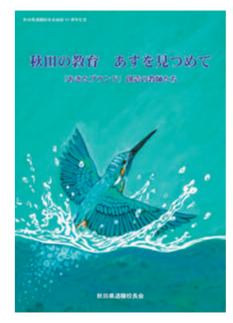
秋田県

秋田県退職校長会

結成 昭和 44 年 10 月 25 日

本会は、昭和44年に全県の退職校長の個人加入により、会員数79名で結成された。その5年 後の昭和49年に、各郡市退職校長会の連合体として組織替えを実施し、7郡市でスタートした。 昭和54年までに新たに3郡市が加盟したが、令和2年に1郡市が解散し現在は9郡市の連合体 として活動している。令和元年には結成50周年を迎え、記念式典を開催し記念誌を発行した。 県会報は100号を超え、秋季研修大会も44回を数えている。残念ながら令和2年からのコロナ 禍で活動が制限されたが、昨年度からは県・郡市ともに通常の活動に戻っている。特に結成50 周年の節目を迎えた郡市の記念式典では、会員同士の結束の強さと熱量を強く感じた。今日の 教育を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、それを踏まえた現職校長や学校との交流や、 大量退職や定年延長に対応した組織づくり、効率的な会の運営など新たに創意工夫を加えなが ら歩み始めている。

本会の目標の一つに、学校応援団としての役割がある。 秋田県の児童生徒の学力は全国トップレベルを維持してい る。それを支えているのは、秋田型探究学習を軸とした教 師の授業力の高さ、家庭学習の充実、規則正しい生活習慣 などが挙げられるが、それをまさに現場で実践してきたの は退職校長である。平成28年より現職校長と連携して4年 間に渡って行った調査研究では、現在でもこれらの実践が 生かされ脈々と受け継がれていることを再検証することが できた。その成果は、結成50周年記念誌『秋田の教育あす を見つめて~「あきたブランド」創造の教師たち~』にま とめられた。またどの郡市でも、研修会や懇親会の場での





現職校長とのグルーブ協議(秋田市)

現職校長との交流を大切にしている。そのため に、常に最新の教育情勢の変化にアンテナを張 りその把握に努めている。令和5年度の秋季研 修大会では「部活動の地域移行の現状と課題」 をテーマに講演会を開催した。また昨年度の研 修大会では、県教育長に挨拶をいただき、教育 現場が抱える喫緊の課題と施策について知るこ とができた。現職との交流会では、直接現場の 声を聞き、これまでの会員の知見と経験を生か した励ましと助言に努めている。